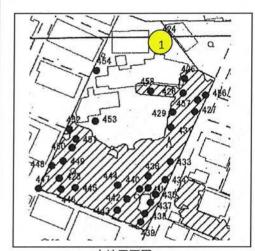
街路樹診断カルテ

様式3表面

Ν	0.										事務所名		
		施設名		赤星邸		樹木医		中野陽	1 (0/25/01)	診断日		年 6月	9日
_		<b>★番号</b>	1		番号424	樹高(			周(C): 257c		(W) = 10		- r419
L	樹木	重名	スダジイ	植栽形態	□単独桝	口植栽带	■緑	地内 🗆	その他	支柱	〕良好 ■	なし	□ 破損
Г	Т	樹勢	枝の伸長量、梢端	の枯損、枝	を の 枯損、葉の密度	き、葉の大き	さ、葉色等	¥	<pre>0 1 0</pre>	2 🗆 3	<b>4</b>	□ 5	
ı	活	排标	主幹・骨格となる					良 ←	010	Access to the second		□ 5	→ 不良
ı	ナ	1	1 40 1844 - 111700	h l 1 . 7		)	. *** ±#	\$1770 L.I					_
ı	診断	所見	上部が枯下り切除	されている	ため、樹勢は衰	退。樹形は	以具端部次	い切除され、	、朋れてきてお	り四万に初	をか広かり	すきてい	る。
ı		活力料	判定 口健全か	健全に近	い 口注	意すべき	被害が見	られる	■著しい被	きが見られ	1る	口不健	全
ı	Г	診断内			根元			幹			骨格とな	る大枝	
L	ı		皮枯死・欠損・腐朽	口なし	■1/3未満 □	1/3以上	口なし	■1/3未清	萄 □1/3以上	■なし	□1/3未	満 □1.	/3以上
ı	L		(周囲長比率) していない開口空洞	in .		N ESCHENS				22.22	er sounds-one	NAME OF THE REAL PROPERTY.	AMERICAN C
L	ı		(周囲長比率)	■なし	口1/3未満 口	1/3以上	■なし	□1/3未清	5 口1/3以上	■なし	口1/3未	満 □1.	/3以上
L	L		(国際長比索)	■なし	□1/3未満 □	1/3以上	■なし	□1/3未満	請 □1/3以上	■なし	□1/3未	満 □1.	/3以上
П	П		(周囲長比率) :記3項目のうち	被害部幅	被害部周囲長	周囲長比率	被害部幅	被害部周	囲長 周囲長比	率 枯枝	■なし□	8.0%) 2000.00	)
L	П		と書部の周囲長比率	IX CI UP TEI	/ =	%	ET CL CL	/	and the same of th	インイン インイン イン・カット			,
L	П		コ(子実体)	■なし□	あり(		口なし■	あり( シィ	サルノコシカケ	) □なし■		OHOLOGOWAYS DAVE	シカケー)
Н	ı		1打診(異常音)	-	あり( H=0~3.5		- 1000-1000-1111-0	あり( H=0		) ■なし□			)
L	ı		部・付根の異常	■なし□			■なし□			) ■なし□			)
L	П	胴柱	れなどの病害	■なし□	あり(		■なし□			) ■なし口			)
П	L	虫穴	・虫フン、ヤニ	■なし口	あり(	)	■なし□	あり(		) ■なし□	1あり(		)
ı	ı		元の揺らぎ	■なし口	あり(	)	建築	限界超え	車道側	建第	を限界超え	歩 道	側
ı	ı		奉貫入異常	■なし口		- )	幹	口なし	口あり	幹	口なし	口あり	
П		巻	き根	■なし□		)	(			) (			)
外	部		<u>ートカラー</u>		口見えない(	)	枝	口なし	口あり	枝	ロなし	口あり	
観	位診		出 根 被 害 自然な傾斜	■なし口		)							)
診断	断	T 1	自然な傾斜	■なし□	めりし	)							
		所見 保存していく場合 機器診断 H=1			は支柱設置が必要 m								
				54	V.								
		判定	- 処置	部位	根				幹		骨格とな	る大枝	
		位健全	か健全に近い										
	П	业 汪惠	すべき被害が見られる	5		-							
		定るで	ハ被害が見られる 全	-		<del></del>						3	
		処 剪定	INSTITUTE OF THE PERSON OF THE			·				_			-
	П		診断が必要										
	夕	観診断	□A:健全か健全	1-2FL	□B1:注意	オベキ畑	宝が見る	+ Z	■B2:著しい		i h z	ПС. 7	7.13人
П		判定	ロA:1建主が1建主	EI-MIC.	UBI:注息	タヘさ板	音が兄り	5/10 I	■DZ: 者しい	被告か兄	られる	□C:7	1、1建王
			表元から幹に打音異 行を行う必要がある。		おり、シイサル	ノコシカケ	の子実化	本が確認さ	れた。内部の	D腐朽状》	兄の確認の	かため機	器診
Π		測定デ-	タ	1.0m )	腐朽空洞率 :	68 0 %		t/R率:①	(2	)	3	a	1)
30,404		測定デ-			腐朽空洞率 :	%		t/R率:①	(2)		3		1)
機器診断		甲中 り	分岐部付近に極め 、折損・倒木の危険 、大枝への支柱の	性が非常	異常が確認され						50%を大き		
=	615	A 300 -	[ ] A [ ] A A [ ] A A			1 September	ele 18 m ×	do 72	Teo Teo	Advisor 1 6 pm	b 1		r (n) A
	総合	合判定	口A:健全か健全	に近し、	□B1:注意	すべき被	吉か見り	れる L	]B2:著しい	被害が見	られる	<b>■</b> C: 7	个健全
	判理	定 を 要	と器診断の結果、幹だ大きく超えており、まな樹木である。 ただが策として、大枝へ	斤損・倒オ し樹高か	cの危険性が非 Sm程度で低い	常に高いため、対	。特に材 策をすれ	の重量に ルば保存は	よる幹裂けが可能。保存す	が想定されたる場合は	るため、仕	战採·更	新が必

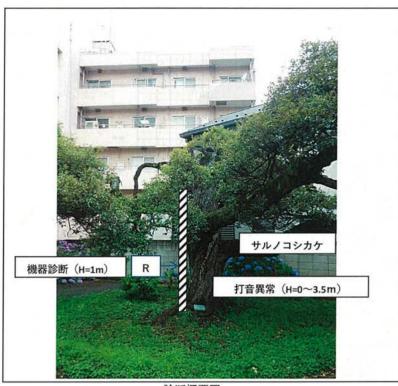
No

	必要性	口なし	■あり		緊急性	口なし	■あり	
		■要観	察(長期周期)	□要観郛	察(短期周期)			0.000.000
	口剪定等(	□枯枝	□腐朽枝等	口支障枝	■風圧軽減	ロスタブカット	口巻き根	)
T _	□樹体保護(				口植栽基盤のi	改善(		)
비설	口根上がり(				) 口病害虫防除	(		)
容	■更新(	伐採	・植替え		■その他(	丸太支柱設置		)



立地平面図





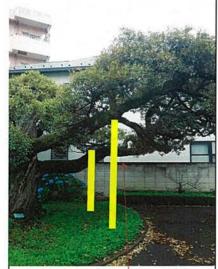
診断概要図



幹:シイサルノコシカケ子実体 H=0.5~1.6m南側



幹:頂端部切断

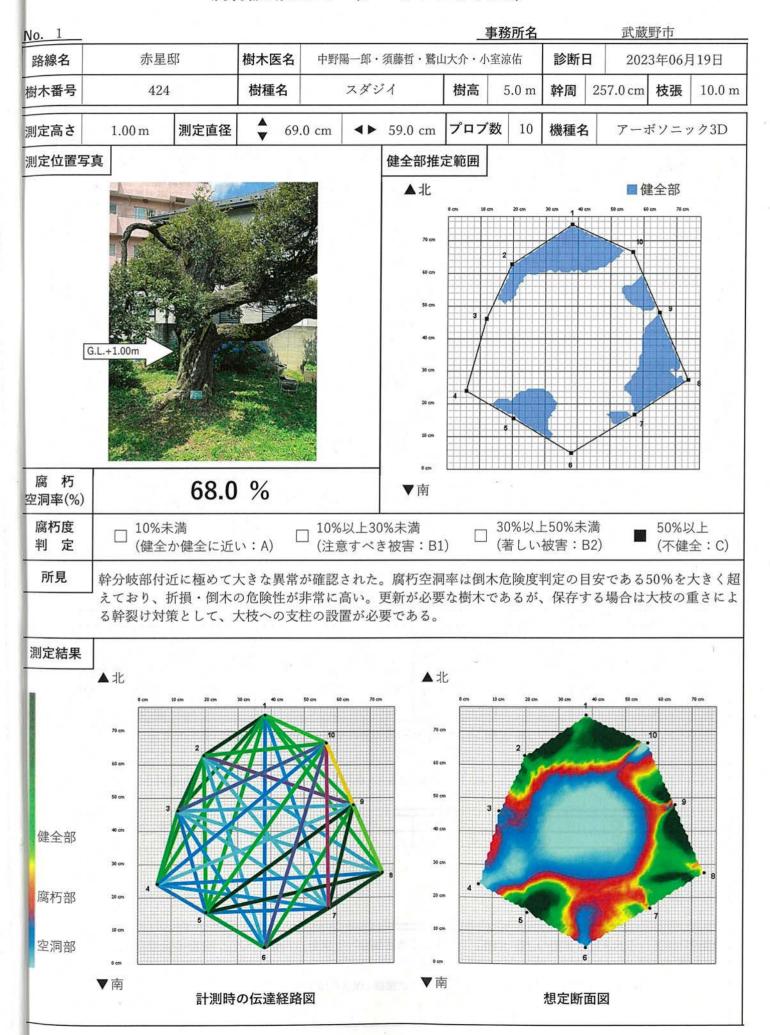


保存していく場合は、支柱設置が必要



項										
次回診断	■フォロ-	ーアップ診	断(口要機器診断	測定部位	立: H=	m	)	□外観診断		
次回フォローアップ診断時期	□1年後	□2年後	□3年後	(	令和	年度)				
位置座標 (WGS84)	8	緯度				経月	吏		IV.	

## 腐朽診断カルテ(アーボソニック3D)



No											事務所名	
		設名		赤星邸		樹木医	- 11	中野 陽一	郎	診断日	100.84955	年 6月 9日
村	討木	番号	24	指定	5号449	樹高(	H)=	16m 幹周	(C): 230cm		(W) = 6m	- Contract
村	討種	名	クスノキ	植栽形態	□単独桝	■植栽帯	□緑	地内 口そ	の他	支柱 口	良好 ■	なし 口破損
		樹勢	枝の伸長量、梢端	場の枯損、核	め枯損、葉の密	度、葉の大き	きさ、葉色等	良 ←—			□ 4	□ 5 → 不良
L	活	樹形	主幹・骨格となる:	大枝・枝なと	の枯損及び欠損	員、枝の密度	と配置等	IX.		<b>■</b> 3	□ 4	□ 5 ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬
П	力 診	所見	葉が小さく密度も少	ヽナンノ はい春	いき退傾向に	なる 掛形	十亩一個	会」 ア原重心				\$
П	断	門兄	未かいてく出及もの	パはく、個子	716表区原門に	るののの対対	る米に原	がして帰里心	0			
П		活力判決	定 口健全か	、健全に近	い	注意すべき	被害が見	られる	口著しい被害	字が見られ	る	口不健全
П	П	診断内容	部位		根元			幹			骨格とな	る大枝
П	ll		古死·欠損·腐朽	ロなし	■1/3未満 [	口1/3以上	■なし	□1/3未満	口1/3以上	■なし	□1/3未注	満 □1/3以上
П	П		周囲長比率)	1,20	17 07(7)mj	11/08/1		口170万円			□ 17 07 47	M 01/02/11
П	Н		ていない開口空洞 周囲長比率)	■なし	□1/3未満 [	口1/3以上	■なし	口1/3未満	口1/3以上	■なし	口1/3未清	苘 □1/3以上
П	H		産した開口空洞		295.14					-4.1	D. (0.4.)	# 54 (61) 1
П	П		周囲長比率)	■なし	□1/3未満 [		■なし	□1/3未満		■なし	口1/3未》	苘 □1/3以上
П	H	上部	23項目のうち	被害部幅	被害部周囲長	周囲長比率	被害部幅	被害部周囲長	= 周囲長比率	枯枝	■なし口	あり( )
П	П	最大被語	書部の周囲長比率			- %	100		- %	スタブカット	■なし口	あり( )
П		キノ:	コ(子実体)	■なし□	あり(	)	口なし■	あり( コフキ	-タケ )	■なし□	あり(	)
П	1	木槌扌	丁診(異常音)	口なし■	あり( H=0~2	(m )	口なし■	あり( H=0~	-2m )	■なし口	あり(	)
Н	1	分岐部	18・付根の異常	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)
Н	l	胴枯	れなどの病害	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)
Н	l	虫穴・	虫フン、ヤニ	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)	■なし□	あり(	)
П		根 元	の揺らぎ	■なし□		)	建筑	を限界超え 耳	道側	建築	限界超え	歩 道 側
П		鋼棒	貫入異常	■なし□	あり(	)	幹	□なし□	あり	幹	口なし	口あり
Н	1	巻	き根	■なし口	あり(	)	(		)	(		)
.,	部	ルー	トカラー	■見える	口見えない(	)	枝	ロなし	あり	枝	口なし	口あり
21	位	露出	根被害	■なし口	あり(	)	(		)	(		)
飲金	診断	不 自	然な傾斜	口なし■	あり(東	)						
		所見	打音異常(H=0/ 幹:東に傾斜 上部が強剪定さ	されている。	, 切り口からの	の腐朽の進	行には注	意が必要				
		判定・	機器診断 H=	U.Zm 部位		根元			幹		骨格とな	よる大枝
Ιl			処 <u>値</u> ∖健全に近い	Thin	/				<del>*T</del>			
Ιl		位是五	でき被害が見られ	z -								
Ш		T1	被害が見られる	ବ								
П		定者しい不健全									- //	
Ш	ŀ	処剪定が		124			7 10			100		
Н			断が必要									
	外	観診断判定	□A:健全か健:	全に近い	□B1:注		客部見		B2:著しい	波害が見	られる	□C:不健全
			にコフキタケの子! 器診断を行う必要		生しており、居	囲には打	音異常か	で確認された	。この部分の	内部の腐	<b>篱朽状況</b> (	の確認のため
		測定デー	タ 部位( G	L 1.0m )	腐朽空洞率	: 54.0 %		t/R率:①	2		3	4
l Ì	_	測定デー			腐朽空洞率			t/R率:①	2		3	4
機器診断			元に極めて大きな 険性が高い。更新	異常が確	認された。腐	朽空洞率(		険度判定の				
-	=		rue of the substitute of the			we keyorin		U.S. VA		(0)		
	総合	<b>含判定</b>	ロA:健全か健?	全に近い	□81 注:	意すべき初	害が見	られる ロ	B2:著しい	坡害が見	られる	■C:不健全

判定理由

機器診断の結果、根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損・倒木の危険性が高い。傾斜木で偏重心であるため、伐採・植替えを検討すべき樹木である。保存する場合は倒木対策としての支持補強が必須となる。樹高が高すぎるため、丸太支柱の設置は困難。周囲の樹木とのケーブリングが有効である。上部はすでに軽減剪定されているため、定期的な剪定管理と経過観察は継続していく必要がある。

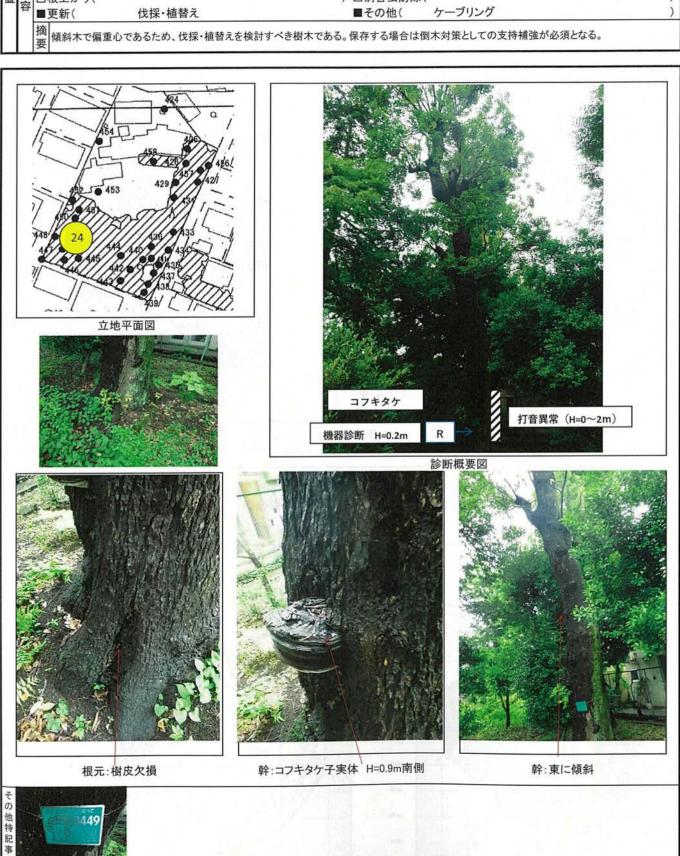
次回診断

位置座標 (WGS84)

次回フォローアップ診断時期 □1年後 □2年後 □3年後

緯度

Т	必要性	■なし	ロあり		緊急性	■なし	ロあり
		■要観	察(長期周期)	□要観	察(短期周期)	ele î	
ı	口剪定等(	口枯枝	□腐朽枝等	口支障枝	口風圧軽減	ロスタブカット	口巻き根
ι.	□樹体保護(				○□植栽基盤の改	收善(	
内	口根上がり(				) 口病害虫防除(		
谷	■更新(	伐採:	・植替え		■その他(	ケーブリング	



□フォローアップ診断(□要機器診断 測定部位: H=

m ) 口外観診断

経度

令和 年度)

## 腐朽診断カルテ(アーボソニック3D)

